

Helleborus niger (Phatak)

■総体的症状

クリスマスローズまたは black hellebore という名で知られている。

略語の“hell(地獄、ひどい体験)”と形容詞の“black(黒い)”が何かを示唆しているとすれば、特徴的な症状の多くに納得がいく。暗い陰うつなレメディーである。

■原因

発疹の抑圧。

殴打、脳振とう、頭部の打撃による、Arnica が効かなかったとき。

失恋の悪影響。

■モダリティー

悪化: 冷氣。思春期。生菌。抑圧。激しい活動。夕方、午後 4～8 時。接触。かがむ。

好転: 症状のことを考えているとき、または気がそれているとき。

症状を緩和するために、常に頭を左右に振る、うめきながら(水頭症)、または枕に頭を埋め込む(髄膜炎)。

■感覚

撃ち抜かれるような痛みで、突然叫ぶ。(頭部)

四肢の突き刺さるような痛みを伴う。(子宮の水腫)

痙攣の前に、電気ショックが脳に走る。

唾液分泌過多、口角のひりひりする感覚を伴う。

ひどい灼熱感、食道にまで広がる、

水がパシャパシャはねるような感覚。(頭部)

■機能

生命力が低い

重篤な病気の状態で、精神と脳に影響を与え; 感覚が鈍く、

反応が緩慢になる; 見ること、聞くこと、味覚が不完全。

麻痺・ぼんやり

頭部: 麻痺するような頭痛、<かがむ。

片側の麻痺、もう一方の自動的な動き。

目: 半開き; 落ちくぼんだ; 上を向く; 斜視。ぼんやり凝視する、または疲れて見える。

顎がだらりと下がって口が開いている。

食欲不振、脳の疾患に伴う。

膨張しすぎの膀胱、頻繁に尿意を感じる、わずかにしか排出しない。

心臓：遅い脈、弱脈、軟脈。
舌のしびれ、乾燥、震え、黄色い潰瘍で覆われている。
夜盲症。嗅覚の衰え。
睡眠：昏眠、完全に起きられない。
あおむけに横たわる、膝を抱えて、または股を開いて。

筋肉の衰弱

最終的には完全に麻痺する。
痙攣と筋肉のひきつり；自動的な動作；片手と片足の自動的な動き。
病気は徐々に始まり、
だんだん衰弱が進む。
筋肉は意志に従わない、そのため、ふらつき、物を落とす。

口渇

冷水をがぶがぶ飲む、乳児は貪欲に乳を飲む。
喉の渇きを伴わない、ほとんどの疾患に、あるいは喉が渇くが飲み物を嫌悪する。

水の貯留

水腫性の腫脹。腹水症。水腫。足の浮腫。
泌尿器：尿、抑圧された、少量の黒い小片や沈殿物を伴う
子宮の水腫、四肢の突き刺さるような痛みを伴う。
男性：精巣水腫、発疹の抑圧による、
腹部：まるで腸に水がいっぱいたまっているかのように、ゴボゴボいう。
水頭症：口を開けてあえぐ、寝床で起き上がる。スプーンをかむ

水の排出

唾液分泌過多、アフタ。
軟便、水っぽい、白いゼリー状の粘液；不随意。
悪寒、発熱を伴う、発汗を伴う、露出を嫌う。
発汗。冷え、発汗による。
漿液性滲出液。

抑圧

抑圧された尿、尿閉、妊娠中の。
女性：月経の抑圧、かぜまたは失恋による。
男性：精巣水腫、発疹の抑圧による

痙攣

痙攣、非常な冷たさを伴う、乳児の。

雑音から痙攣発作が起こる。
てんかん;意識を伴う、深い眠りが後に続く。
四肢:片方の腕と脚の自動的な動き、睡眠中以外の。
睡眠時の筋肉痙攣。
産褥痙攣、突然の雑音で止まる。

黒

すすけて広がった鼻孔。
緑がかった黒いものを吐く、痙攣に伴って。
患者の周辺のすべてが暗く見える。
患者の顔、唇、手は黒ずみ、鼻孔からはすすが出る、

白

通常赤い部分が白くなる。
顔:青白い;浮腫状の;赤い、熱い、または冷たい。

こわばる

首:首のこわばり(髄膜炎)。
口:歯ぎしり。

■MIND

精神:完全なる無意識。何も考えずに凝視する。食べない、話さない。固定観念。
ただじっと座って、何も言わない、何もしない。 鈍い、不注意。
愚か;認識に時間がかかる、または無感動。
憂うつ;陰うつ;絶望;ぼんやりした。他人の幸福をねたむ。思春期のうつ。
自責感からのヒステリー性躁病。
自分が悪い、自分はある特定の日に死ぬと思い込んでいる、
弱々しい、繊細。
不随意に歌う。
物が新しく見える。
脳卒中後の知的障害。
いら立ち、＜慰め;邪魔されたくない。
あら探しをする。

■関連レメディ

補完レメディー: Zinc
関連レメディー: Bry., Op., Zinc.